



長町中は今

夢に向かって全力疾走！長町中

《校訓》
自主
友愛
健康
創造

平成31年2月22日
仙台市立長町中学校
学校だより 第22号
電話：(248)1444

<http://www.sendai-c.ed.jp/~nagajh00/>

第2回学校関係者評価委員会開催

2月15日(金)、9名の委員の方にお集まりいただき、今年度2回目の学校関係者評価委員会を開催しました。

今回は、平成30年度の本校の重点努力事項に沿って学校側から、その取組と成果や課題についてご説明しました。委員の方々からは、学校内外での生徒の礼儀がしっかりしている、地域へのボランティア活動へ積極的に関わっている、生徒たちの活躍の場がたくさん設けられている、などたくさんのお褒めの言葉をいただきました。今回いただいたたくさんのご助言を生かしながら、来年度の学校運営に取り組みしたいと思います。



【ご意見・ご感想等】

- ・学校だけでは子どもは育たない。地域に育ててもらっている部分も大きい。小学校では、学校支援地域本部の方にも授業に入ってもらっており感謝している。
- ・スマホの所持率は確実に増えている。親としてどのように関わっていくかが課題。学校でのマナー教室などは有効だと思う。
- ・児童館では、中学生が小学生を見守っているような感じ。学校では見せない姿が見られるので、是非見に来てほしい。
- ・地域の行事やボランティア活動に、生徒たちと一緒に参加したが、楽しそうにしている姿が見られた。先生方の参加もありがたかったし、生徒たちそれぞれに居場所があって良いと感じた。
- ・ボランティア活動に関し、学校が参加しやすいようにいろいろ手を尽くしてくれており、その結果として参加者が増えているのだと思う。
- ・小学校から中学校へのつながりが、子どもたちの自己肯定感を育てているのだと思う。地域に出て活躍している生徒もいるが、自分から外に出て行きづらい子どももいる。学校内でのちょっとした活動でも「それでいい。」という意識を持たせることも大切だ。
- ・アンケートで評価が高かったことは良いこと。生徒の評価が先生の評価より高いのは、生徒がよく見てくれていたということ。しかし、低い評価を付けた少数の子どもたちが、どんなことを考えているかに目を向けることも必要だと思う。
- ・様々な場面で力を発揮する生徒の姿、成長する姿を見ることができて良かった。来年度、更により良く改善してほしい。

悩みの共有・・・

2月19日(火)、学校になかなか足が向かないお子さんをお持ちの保護者の方を対象に、茶話会を実施しました。今年度から始めた取組で、今回が3回目です。参加者も回を追うごとに増え、毎回有意義な時間を過ごすことができています。学校側からは、不登校支援コーディネーター、養護教諭、相談員、管理職等が参加し、保護者の方の悩みを共有するとともに、経験を基にしたお話をさせていただきました。来年度も継続して行う予定ですのでよろしくお願い致します。

NON合同夜間巡視実施

2月16日(土)18時から、NON(長町おやじの会ネットワーク)が富沢中学校と合同で地区巡視を行いました。当日は土曜日の夜にもかかわらず、両校併せて(教員も含めて)約30名の参加者があり、4グループに分かれて大型ショッピング施設を中心に巡回しました。

大型ショッピング施設は、SNSを通して知り合った少年少女たちのたまり場になることもあり、そこでトラブル等が発生することもあります。生徒たちには、安全で正しい利用の仕方を心がけてほしいと思います。ご家庭でもお声がけをよろしくお願いします。

最速行をお願いします！

鹿野公園側から長町中学校に向かう細い道路があります。教職員だけでなく、生徒も保護者の方も利用する道路です。道路の両側には民家が軒を連ねており、利用者は相当な数に上ると思われます。みんなが安全に利用しなければならない道路なのですが、スピードを出した車や横に広がって歩く中学生が見受けられ、住民の方からも不安の声が上がっています。その声が区役所に届けられ、過日、区役所道路課が、路面に「減速」という文字を表示してくれました。表示はされましたが、それを守らなければ意味がありませんし、登下校の際も広がらずに歩かなければ危険が伴いますし、通行の迷惑にもなります。これを機に、利用者全員で利用の仕方について再度見直し、安全な通行を心がけたいものです。



「はい」という一言が持つ意味

いつでも、どこでも、誰にでも、名前を呼ばれたら「はい」という返事をする。

一見、当たり前で簡単そうに思えることですが、実はなかなか難しいかもしれません。授業中指名をすると、「はい」という元気な返事をしてから発言する生徒が多くいますが、これは大変すばらしいことなのです。

「はい」という言葉は「拝啓」という言葉の「拝」だけを取り出した省略形だという説があります。「拝」というのは「手のひらを合わせて拝む」という意味です。「啓」は「心を啓(ひらく)」という意味です。つまり、「はい」とは、相手に対して敬意を払い、拝み、そして心を啓いて接することなのです。江戸時代までは、名前を呼ばれたら「はい」と答えるのは当たり前だったそうです。しかも、「すみませんがお手伝いしてできませんか？」という投げかけに対しても常に「はい」でした。仮に何もできないにしても「はい」でした。「はい、手伝いますよ。」「はい、今はできません。すみません。」というように、肯定であっても否定であっても、常に「はい」でした。それは、いったん相手を受け入れるという意味があったからです。どんな人であっても、どんな考えを持った人であっても、受け入れるという日本文化の一つなのでしょう。

日本語の中には、美しい言葉がたくさんあります。美しい言葉というのは、その言葉を聞いただけで人の心を和ませてくれます。「はい」という言葉は、美しい言葉であると思います。「はい」という言葉が自然に出てくる長中生であってほしいと思います。

☆おめでとう！☆

* 剣道昇段審査会 二段 S.Rさん, A.Mさん(2年生)
初段 T.Sさん(2年生)

* 宮城県合唱アンサンブルコンテスト 金賞 合唱部

* 仙台市小中学校図画工作美術合同展 出展

K.Sさん, S.Aさん, T.Sさん, M.Kさん, N.Yさん, T.Tさん, T.Hさん(2年生)
T.Aさん(3年生)

* 高円宮杯 U-15 サッカー宮城県リーグ 3部 Gブロック 第1位 サッカー部

第三者への公開・開示や不当な目的利用、複製及び複製等はお断りします。

